



野塚神社とエゾヤマザクラ（4月28日 撮影）

ひろお 議会だより

No **218**

2026年6月1日発行



町ウェブサイト
「広尾町議会」
QRコード

【令和8年第1回定例会】

人口減少対策を重点に 令和8年度予算可決

2

ズバリ問う！一般質問（5人が登壇）

国保病院／高校存続／公約の実現 ほか

10

常任委員会所管事務調査

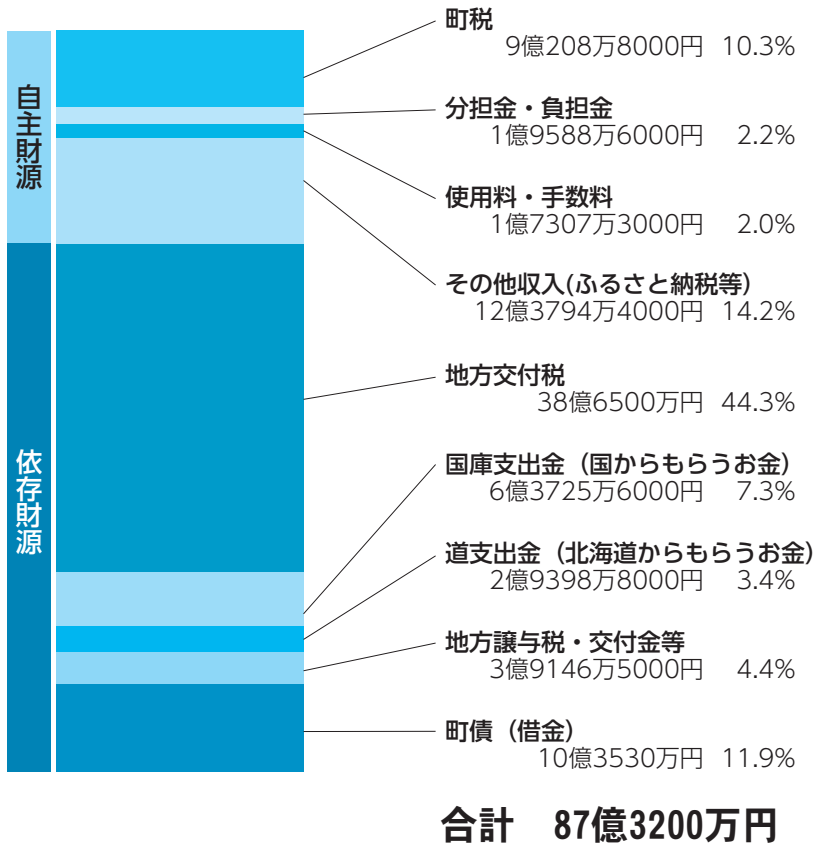
学校給食の現状と課題 ほか

18

少対策を重点に

令和8年 第1回 定例会

一般会計収入（歳入）



令和8年第1回定例会は、3月4日(水)から12日(木)までの9日間の会期で開かれました。名誉町民の決定、条例の制定や一部改正、補正予算、令和8年度予算などが提案され、本会議・委員会での審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

◆令和8年度各会計の予算額

会計名	本年度予算額	前年度政策予算額	比較
一般会計	87億3200万円	80億6000万円	6億7200万円
港湾管理特別会計	1億3520万円	1億490万円	3030万円
国民健康保険事業勘定特別会計	8億4210万円	9億3040万円	△8830万円
介護保険特別会計	6億7680万円	6億8070万円	△390万円
介護サービス事業特別会計	2億7660万円	3億2650万円	△4990万円
後期高齢者医療特別会計	1億7320万円	1億3730万円	3590万円
病院事業債管理特別会計	3547万5000円	1億2083万8000円	△8536万3000円
水道事業会計	4億7723万3000円	4億5010万9000円	2712万4000円
下水道事業会計	6億9487万2000円	5億9682万9000円	9804万3000円
合計	120億4348万円	114億757万6000円	6億3590万4000円

全9会計総額120億円可決
(前年度比5.6%増)



主な事業

公園施設整備工事

4億2183万円

新しい公園に遊具等を設置する工事を行います。

屋内遊戯施設新築工事

1億9144万円

新しい公園に屋内遊戯施設を新築します。



エアコン設置事業

3070万円

暑さ対策のため
コミュニティセンター
老人福祉センター
健康管理センター
にエアコンを設置します。

公設民営塾開設事業

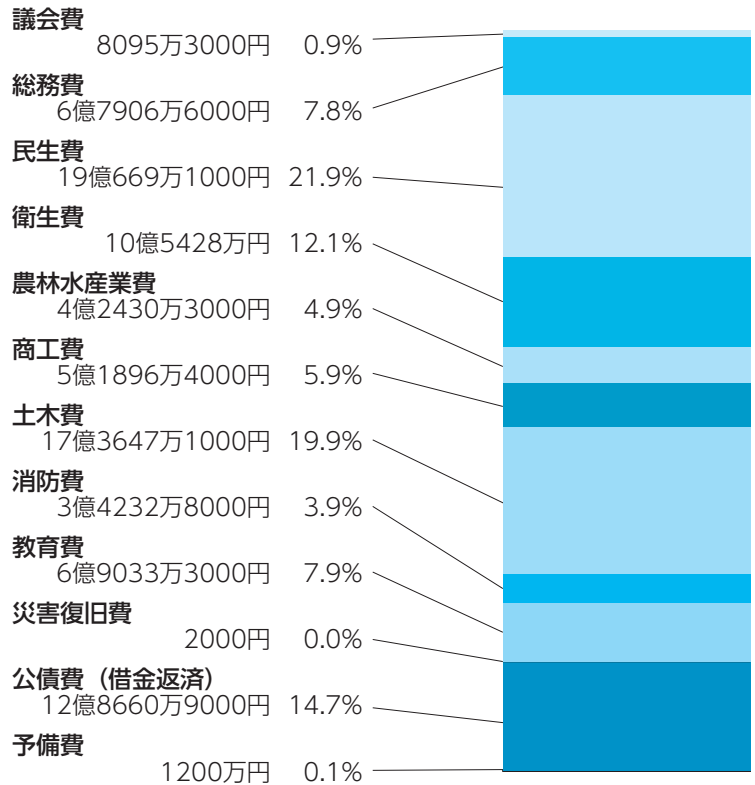
2645万円

広尾高校生向け公設民営塾を通年開設します。

令和8年度 予算

人口減

一般会計支出（歳出）



合計 87億3200万円

【予算の概要】

一般会計予算額は87億3200万円で、前年度予算

（賛否の内訳はP9）

令和8年度予算審査のため、予算審査特別委員会（山谷照夫委員長）を設置。一般会計、6特別会計、2企業会計の計9会計について、3月10、11日の2日間審査を行い、12日の本会議で討論・採決の結果、全会計総額120億円の予算が可決されました。

※一般会計は起立による採決を行い、賛成多数で可決。

と比べて6億7200万円の増となりました。

収入の約半分を占める地方交付税は38億6500万円を見込み、前年度予算と比べて7000万円の増となりました。

町税収入は前年度予算比3・1%増の9億208万円を見込んでいます。

町の借金にあたる町債の発行額は前年度予算と比較して100・5%増の10億3530万円で、令和8年度末の借金残高見込みは一般会計76億1158万円（全会計で107億7163万円）となっています。

新年度予算の 使い道は

予算審査 特別委員会

3/5,10,11

委員長 山谷 照夫

副委員長 萬亀山ちず子

新年度予算についての質疑内容を抜粋、要約してお知らせします。

一般会計

* クーリングシェルター

雄谷 クーリングシェルターの運用方法は、

答 公共施設1か所と民間施設3か所を指定しており、基本的には施設の営業時間内で開設するが、公共施設は特別警戒情報が出た際は土日でも開設する。

庁舎トイレ改修

萬亀山 どのような改修内容か。

答 庁舎1階女子トイレの和式便器2か所を洋式に改修する。

情報発信強化

藤齋 LINEを活用した情報発信強化の具体的な内容は。

答 登録者ニーズに合わせて情報発信やよくある質問への自動応答、アンケート、イベントの参加申込み等を予定している。

町内会連合会

渡辺 町内会活動に関するポイント制の協議は行われたのか。

答 行政ポイントの活用は令和8年度から始まるが、連合会との協議も含め、9年度に向けて検討する。

防災倉庫

松田 実施設計の中で、再生可能エネルギーを導入し、災害時の電力源とする考えは。

答 日常的に使う施設ではなく、高額な蓄電池が必要となるため、今のところ考えていない。

音調津避難路

志村 道路の山側にU字溝が入っているが、タイヤがはまらないような設計を考えているか。

答 測量と設計に関しては、安全な走行ができる形を考えている。

子ども農山漁村交流

前崎 平成27年の実施から10年以上経過しているが、総事業費は。

答 平成27年度から令和7年度までの11年間で約1億800万円。

ボイラー改修

浜野 生活支援ハウスのボイラー改修工事の内容は。耐用年数が経過し、老朽化したボイラーを最新のものに改修する。

社会福祉協議会

松田 社会福祉協議会に対する財政支援は、一定程度継続するのか。

答 運営状況が直ちに改善されるとは考えにくく、当面の間は継続と考えるが、介護報酬の改定状況を踏まえて協議を続ける。

病院運営費補助金

尾矢 帯広厚生病院に対する運営費補助金の積算根拠は。

答 救命救急センターや小児救急医療などの不算部門について管内19市町村で負担しており、負担割合は患者割で算出している。

臭気測定

山岸 過去3年間、基準値を一度も上回っていないが、調査は必要なのか。

答 法律に基づいて行うものではないが、回数等の制限はないが、必要な場合に調査を行う。



ふるさとクリーン作戦：行政ポイント制度の導入で参加者の増を



※クーリングシェルター
指定暑熱避難施設のことで、危険な暑さから避難できる場所として町長が指定した施設であり、熱中症特別警戒アラートの発表期間中、一般に解放される。

公設民営塾開設

斎藤 対象を中学生まで拡大する予定は。

答 広尾高校への進学者を増やすことが目的で、今のところ予定はないが、中学生を対象とした体験イベント等は考えている。

雄谷 業者の選定で重視する点は。

答 個に応じた指導方法の工夫や学習意欲の向上

に対する工夫、基礎学力の向上、業務執行体制、講師の質や人員体制などを審査する予定。

広尾高校全国募集

斎藤 予算計上がない中で、全国募集の大々的なPRはできるのか。

答 全国的に様々なPRの方法があることは承知しているのですが、どのような形が効果的かを再度検討していく。

前崎 下宿運営事業助成金の対象となる下宿の基準と現在の事業者数。

答 居室に浴室、トイレがあることなどを条件として設定しており、現在は1事業者が対象となっている。

ホッキ資源再生事業

志村 放流するホッキ貝の購入先と広尾のホッキ貝への影響は。

答 浜中町から購入する。道東の同じ海域である水温が低いところなので、影響はないと考える。

住宅新築・リフォーム

雄谷 奨励金を商品券から地域ポイントに切り替えた理由は。

答 サプリを活用することにより、町内の消費拡大や経済の好循環が図られると考えたもの。

地域おこし協力隊

前崎 地域おこし協力隊の退任が続くが、採用面接での意思確認は。

答 当初の面接では3年間やる気で来ていたと思うが、自己都合で退任した。今後も採用する際は、しっかりと面接、面談をしていく。

オオバナノエンレイソウ

雄谷 植生の把握や保全活動の現状は。

答 今年度は草刈りと風倒木の処理、近辺に100本程度の植栽をしており、令和8年度も同様に観察と植生の保全を継続していく。



直射日光を妨げる対策は

公園施設整備

松田 公園施設の公衆LAN整備工事におけるセキュリティ対策は。

答 様々な懸念があるためセキュリティは確保した上でLAN整備を行う。

ふるさと納税

尾矢 令和8年度もガバメントクラウドファンディングを検討しているのか。

答 子どもの夢を応援するプロジェクトについては行う予定である。

J-クレジット

大庭 町が保有する販売可能なクレジットの数量は。

答 現在の残クレジットは1315トンで、令和8年度は2900トンが販売可能となる予定。

国保会計

エアコン設置事業

志村 執務室ではなく相談室にエアコンを設置する理由は。

答 執務室には旧特別養護老人ホームに設置されていた遊休状態のエアコンを移設する予定で、相談室は使用頻度も高いことからエアコンを新たに設置する。



全国募集に向け効果的なPRを



保志 信芳 氏 名誉町民に

令和 8 年
第 1 回
定例会
3 / 4 ~ 12

平成 19 年以來 18 年ぶり 6 人目の名誉町民に決定

町民から郷土の誇りとして深く尊敬され、広く社会文化の興隆に寄与されていることから、広尾町出身の

保志信芳氏（年寄り名八角信芳氏）に名誉町民の称号を贈ることを決定しました。



役場庁舎1階ロビーにおいて記念展示を開催

保志氏は、昭和38年に広尾町で生まれ、広尾中学校在学中の14歳で九重部屋に入門されました。しこ名を北勝海と改めた昭和61年に大関昇進、昭和62年には横綱昇進を果たされました。生涯戦績は、591勝286敗10勝9休、幕内優勝は8回を数えました。本町では、3度にわたる

祝賀パレードを開催し、町民栄誉賞を贈呈しました。引退後は、8代八角を襲名し、八角部屋を創設。後進の育成に意を注がれたほか、シーサイドパークでの夏合宿や少年相撲教室の開催、老人ホームへの慰問、盆踊り大会への参加など、多岐にわたり本町に貢献されました。

平成27年には日本相撲協会の理事長に選出され、現在に至るまで5期10年にわたり、相撲界の先頭に立って手腕を発揮されています。

略 歴

< 現役時代 >
昭和53年4月 九重部屋に入門(14歳)
昭和54年3月 大相撲一番出世(初土俵)(15歳)
昭和58年9月 幕内西13枚目に昇進(新入幕)(20歳)
昭和59年1月 東小結に昇進
昭和59年3月 西関脇に昇進
昭和61年7月 北勝海 信芳 に改名
昭和61年7月 大関に昇進(23歳)
昭和62年5月 横綱に昇進(24歳)
平成4年4月 引退(28歳)

< 引退後 >
平成5年9月 8代八角を襲名、八角 信芳 となる
平成5年10月 八角部屋創設
平成24年2月 日本相撲協会理事に就任
平成27年11月 同 理事長代行に就任
平成27年12月 同 理事長に選出
～ (現在5期目)

< 町栄典 >
昭和61年7月 広尾町町民栄誉賞

＜広尾町名誉町民＞

昭和 53 年	堀田 毅 氏	(元広尾町議会議長)
		(元北海道議会議員)
昭和 55 年	本間 次郎 氏	(元広尾町議会議長)
		(元広尾町長)
昭和 58 年	中川 一郎 氏	(元衆議院議員)
昭和 61 年	橘 清 氏	(元広尾町議会議長)
平成 19 年	泉 耕治 氏	(元広尾町長)

その他決まったこと

人権擁護委員

候補者の推薦

人権擁護委員候補者の推薦を「適任」としました。
村上洋子さん（新任）

指定管理者

広尾町観光案内所の指定管理者を株式会社O2（オーツー、公園通南2）に指定しました。

指定期間は令和8年4月1日から令和13年3月31日まで。

条例

◆広尾町乳児等通園支援事業に関する利用者負担額及び定員を定める条例の制定
◆広尾町認定こども園条例の一部改正

「いづれでも誰でも通園制度」を認定こども園ひろお保育園で実施できるよう、規定の整備をしました。

◆広尾町国民健康保険条例の一部改正

子ども・子育て支援納付金の課税等に関する条文を追加する改正をしました。

前崎 医療保険料を少子化対策に活用することは、本来の目的を逸脱することになるのでは。

法令の改正や北海道から示された趣旨を十分踏まえた内容である。

答

討論（国税条例の一部改正）

反対 前崎 まえさき 茂議員 しげる

子ども・子育て支援金の上乗せ徴収で児童手当の拡充などが行われるが、これらは本来国庫負担で実施すべきものである。

医療と異なる政策を保険料に上乗せする必要はなく、これらが前例となり無関係な政策にまで医療保険料が流用される危惧が生じると考え、本改正案に反対する。

◆広尾町漁村環境改善総合センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

◆広尾町青少年研修センター設置条例の一部改正

令和8年4月から徴収が開始される北海道宿泊税を、広尾町が特別徴収義務者として利用料金と併せて徴収できるよう、右記2施設の条例を改正しました。

北海道宿泊税

観光の付加価値向上や観光サービスの充実、旅行者受け入れ態勢の強化、災害対応、地域経済の発展に資する施策の費用に充てることを目的として導入される。なお、宿泊する地域によって税額が異なります。

宿泊料金（1人1泊）	税率
2万円未満	100円
2万円以上5万円未満	200円
5万円以上	500円

◆広尾町水道事業給水管理条例の一部改正

災害等の発生により、地の指定給水装置工事事業者の確保が難しくなった場合、他の市町村長等の指定を受けた事業者が給水装置工事を行うことができるよう条例を改正しました。

◆特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

養護老人ホーム介護職員の不祥事により、管理監督責任者である町長と副町長の令和8年4月分の給料月額を、町長は30%、副町長は20%減額する附則を加えました。

令和8年度予算を可決

討論（一般会計）

反対 前崎 まえさき 茂議員 しげる

国際情勢が不安定な中、エネルギー価格の高騰や円安で物価高に追い打ちをかける経済状況となり、住民生活にも影響を与えている。子ども農山漁村ホームステイ受け入れ事業は10年が経過し、この間の総事業費は1億円を超えており、他の自治体との交流の必要性は認識するが、ふるさと納税は本町の子どものための支援政策に充当すべきものであると考え、本案に反対する。

賛成 浜野 はまの 隆議員 たかし

まちづくり推進総合計画の後期計画を確実に推進し、地域経済の安定への配慮や社会福祉協議会への新たな支援など、町民が安心して暮らすための事業の維持、向上に努める内容である。また、広尾高校の存続に向け、公設民営塾の常設など、様々な施策を盛り込み、教育環境の向上を目指す内容となっており、諸課題に対応した予算であると考え、本案に賛成する。

令和7年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑨	84億894万円	1億9260万円	減
港湾管理特別会計 ③	1億645万円	18万円	増
国保事業勘定特別会計 ④	9億1570万円	3086万円	減
介護保険特別会計 ④	6億9154万円	1914万円	減
介護サービス事業特別会計 ⑤	3億2040万円	1239万円	減
後期高齢者医療特別会計 ③	1億4015万円	250万円	増
病院事業債管理特別会計 ②	1億416万円	1790万円	減
水道事業会計 ⑥			
収益的収入	3億1328万円	752万円	減
収益的支出	3億2702万円	565万円	減
資本的収入	6597万円	40万円	減
資本的支出	1億2172万円	38万円	減
下水道事業会計 ④			
収益的収入	4億89万円	774万円	減
収益的支出	3億4146万円	861万円	減
資本的収入	8988万円	1106万円	減
資本的支出	2億4599万円	1016万円	減

※会計名の後の丸数字は補正回数

(1万円未満切り捨て)

補正予算

出産祝い金

△110万円

雄谷

予算上の人数と2月末現在の出生数は、

答

予算は11人分で、出生数は9人。

出産・子育て応援給付金

△71万円

雄谷

届出と出生数をそれぞれ何件見ているのか。

答

入院収益と外来収益を合わせ1億1755万8000円の減収となる見込み。

雄谷

収入の減少額は。

国民健康保険病院運営交付金

4596万円

答

現在、妊娠等16件、出生時11件で、今後4件程度の申請を見込んでいる。

意見書2件を可決

国等へ提出

※内容は要約しています。

①

生産現場に寄り添った農業政策を求める意見書

提出者

浜野 隆議員

農業をめぐっては、昨年4月に中長期的な目標や方向性等が示されたほか、基本計画では令和9年度から水田政策を根本的に見直すことが明記された。また畑作物の直接支払交付金の単価改定も令和9年度に制度の運用を検討するとしている。

しかし、酪農や畜産では乳価の上昇が収入の増加につながっているものの円安などの影響により所得の上昇には結びついていない。

このため、将来にわたって安心して農業を営めるよう、酪農・畜産の必要な予算措置や畑作物の直接支払交付金の算定方式の改善、水田政策の早期実施と産地交付金の制度運用の維持を要望

②

地域交通・生産交通の維持・確保に係る支援に関する意見書

提出者

前崎 茂議員

我が国は平成22年より死亡数が出生数を上回り、人口減少が進んでいる。北海道の人口も平成10年をピークに人口減少が続いており、令和7年11月末には500万人を切っており、本町を含む多くの自治体で人口減少と少子高齢化が進んでいる。このような状況下で、地域住民の足となる地域交通・生活路線バスの役割は非常に大きくなっているのに対し、地域路線バスを維持するための「地域間幹線系統確保維持費補助金」は平均乗車密度が低くなればなるほど補助金が削減されるなど地域住民の足を守るという趣旨に逆行している制度となっている。

広尾町と帯広市を結ぶ十勝バス「広尾線」は近年、平均乗車密度が4人前後で

推移しており、国の基準値の5人を下回っているため、補助金が上限額より2割以上減額されている。

補助金交付以外の赤字分は沿線自治体の走行距離に応じて負担しており、広尾町の令和7年度の負担額は3568万9千円となっており、平成22年度の23万4千円と比較しても増額されている。

今後も負担額の増加が見込まれており、これ以上の負担は自治体財政にとって限界であるため、地域間幹線系統確保維持費補助金の現行補助対象経費の上限額引上げや補助金の減額措置の撤廃を強く要望する。

提出先

内閣総理大臣 (①②)
財務大臣 (①)
農林水産大臣 (①)
衆議院議長 (②)
参議院議長 (②)
総務大臣 (②)
国土交通大臣 (②)
北海道知事 (②)

令和8年 第1回定例会 議案審議結果

●賛否のあった議案（議案名は一部省略しています） ○：賛成 ×：反対 欠：欠席

議案番号	議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議決結果
		斎藤弘樹	尾矢利昭	大庭克彦	雄谷幸裕	山岸謙一	松田健司	志村國昭	浜野隆	萬亀山ちず子	前崎茂	渡辺富久馬	山谷照夫	堀田成郎	
議案 10	国民健康保険税条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	－	可決 (11- 1)
議案 23	令和8年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	－	可決 (11- 1)

※全会一致した議案の掲載は省略しています。 ※堀田議員は議長のため、採決には加わりません。

議員の会議等出欠状況をお知らせします

(令和7年12月定例会終了後～令和8年3月定例会まで)

(1) 定例会・臨時会 ○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

			議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
			議員名	斎藤	尾矢	大庭	雄谷	山岸	松田	志村	浜野	萬亀山	前崎	渡辺	山谷	堀田
開催日	開催会議名・主な内容															
12/18	第1回臨時会（補正予算など）			○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2/18	第1回臨時会（補正予算など）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/4	第1回定例会（条例制定・改正など）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/5	第1回定例会（補正予算など）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/9	第1回定例会（一般質問）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/12	第1回定例会（新年度予算など）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
開催日数計		6日	出席日数計	6	6	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

(2) 委員会 ○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 ー：所属外

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	斎藤	尾矢	大庭	雄谷	山岸	松田	志村	浜野	萬亀山	前崎	渡辺	山谷	堀田
開催日	開催会議名・主な内容														
2/4	議会広報編集会議		×	－	○	○	－	－	－	○	○	－	○	－	－
2/6	第1回総務常任委員会		－	－	－	○	○	○	○	○	－	－	－	○	－
2/10	第1回産業常任委員会		○	○	○	－	－	－	－	－	○	○	○	－	○
2/12	第1回議会広報特別委員会		○	－	○	○	－	－	－	○	○	－	○	－	○
2/18	第1回議会運営委員会		－	○	－	－	○	○	○	－	－	○	－	○	○
2/26	第2回議会運営委員会		－	○	－	－	○	○	○	－	－	○	－	○	○
3/5	予算審査特別委員会（正副委員長互選）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
3/5	第2回議会広報特別委員会(正副委員長互選)		○	○	－	－	○	○	－	－	－	○	－	○	－
3/9	第3回議会運営委員会		－	○	－	－	○	○	○	－	－	○	－	○	○
3/10	予算審査特別委員会（新年度）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
3/12	予算審査特別委員会（新年度）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
3/12	議会広報編集会議		○	○	－	－	○	○	－	－	－	○	－	○	－

※議長の委員会への出席
堀田議員は議長のため、各委員会に所属していませんが、いずれの委員会にも随時出席し、発言することができるため、出席した委員会は「○」と表しています。
※予算審査特別委員会は議長を除く議員で構成されています。

(3) 議員協議会・研修・その他 ○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 ー：該当外

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	斎藤	尾矢	大庭	雄谷	山岸	松田	志村	浜野	萬亀山	前崎	渡辺	山谷	堀田
開催日	開催会議名・主な内容														
12/12	議会懇談会（農協役員・1班）		－	－	－	○	○	○	○	○	－	－	－	○	－
12/16	広尾地域学高校生議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2/12	議会モニター会議		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
2/18	第1回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/4	第2回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般質問

3月定例会では、5人の議員が一般質問を行いました。
※内容は要約して掲載しています。

まえざき しげる
前崎 茂 議員

国保病院の収支と 看護師等の確保状況は

町長

現行制度ベースでの計画作成、
引き続き確保に努めていく

私の視点・提案1



本町国保病院は令和元年度に
独法化し、初年度の病床利用
率は75.6%、医療収益は5億
5,800万円であったが令和6
年度にはそれぞれ60.8%、5
億350万円となっている。厚労省はこれから診
療報酬を3.09%引き上げるが、今後の収支見通
しについて伺う。

問 診療報酬改定を踏まえ
た国保病院の収支見通
しは。

答 改定内容の詳細が未確
定のため、現時点では
現行制度ベースで計画を作
成しており、反映はしてい
ない。

問 看護師数の目標は35人
となっているが、現状
と見通し及び応援ナースの
人数は。

答 令和7年度末は26人の
見込みであり、令和8
年度当初は28人で、そのう
ち応援ナースは5人の見通
しである。今後も引き続き
確保に努めていく。

問 患者ニーズが高いと言
われる人工透析の再構
築の考えは。

答 看護師不足の状況を踏
まえ、第3中期目標（令
和9年度以降）であり方を
検討予定である。

問 消費税に係る増税額は。
また、その対応はどう
していくのか。

答 令和元年度から令和6
年度までの増税累計額
は約1億5300万円であ
る。また、今後は全国団体
を通じて国への要望を継続
していく。



経営改善が急がれる

前崎議員の
一般質問は
こちらから



問

隣接する未利用地を活
用したパークゴルフ場
拡張整備の考えはあるか。

鉄道記念パークゴルフ場の 早期拡充整備を

町長

未利用地活用も含め、
今後検討していく

私の視点・提案2

鉄道記念公園パークゴルフ
場は芝生が整備されており、
腰や膝に負担がかからず利
用しやすい反面、狭隘でコー
ス間に余裕がなく、プレー
しづらいとの声がある。
そこで次のことを伺う。

答 安全面の課題は認識し
ており、今後の公園整
備や健康増進の観点から検
討する。併せて、未利用地
活用も含め今後検討する。

問 狭隘でホール間が近い
ところもあり、危険な
ので拡げてほしいとの利用
者の要望がある。今後の方
向性は。

答 パークゴルフ協会及び
利用される皆さんの意
見を聞きながら早期に結論
を出したい。



4/29(水)よりOPEN



※応援ナース（応援看護師）
人手不足の病院や施設へ一時的に助っ人として働く即戦力
看護師。

一般質問

お や としあき
尾矢利昭 議員

高校存続と 部活動の地域展開の取組は

町長 外部講師の導入等を
早期に進めていく

私の視点・提案

他市町村では高校存続のために様々な取組を行っており、また、部活動の地域展開については来年度末までに約7割の自治体が実施すると公表している。本町では遅れているが、その進捗状況について伺う。



問 広尾高校の魅力向上への取組状況は。

答 「魅力向上プロジェクト」を重点化し、パートナーズ制度、コーディネート配置、公設民営塾、全国募集を柱に推進している。

問 広尾高校のPR活動はどのように進めていくのか。

答 SNS発信を継続しつつ、動画作成や花火大会等の情報発信など高校生が主体となったPRを検討・実施していく。

問 広尾高校存続対策協議会の運営改善は。

答 開催回数の増加や実務者レベルのプロジェクト体制構築を検討していく。

問 パートナーズ制度の具体的な活用方法は。

答 ボランティアや商品開発、イベントの企画など

どの制度主体の活動費に活用予定としている。

問 中学生へのアンケートについては政策に反映されるのか。

答 行事や部活動の充実などの意見を踏まえ、今後の魅力向上策に反映していく。

問 全国募集に向けた具体的なPR策はあるのか。

答 高校が主体となってタイミミングを捉えたPR

を行い、町としては連携や支援を行う。

問 部活動の地域展開についての現状はどうなっているか。

答 基礎トレーニングの外部委託やアンケートの実施など、初期段階の取組にとどまっている。

問 今後の地域展開のスケジュールについて、どのように進めていくのか。

答 検討協議会での議論を加速化し、外部講師の導入等を早期に進めていく。

問 指導者確保についての方策はあるのか。

答 外部講師制度や教職員・町職員の活用など、多様な方法での確保を検討している。

問 地域展開における課題への認識はどうか。

答 指導者や財源、団体、移動手段などが課題であり、段階的に対応していく。

問 近隣の他自治体との連携については考えているか。

答 現状は限定的であるが、合同活動等も踏まえて今後検討していく。

問 柔軟な働き方の活用は考えているか。

答 フレックスタイム制度等も含め、町職員の活用など柔軟な制度を検討する。



外部指導で基礎体力向上へ

尾矢議員の
一般質問は
こちらから



次のページも「一般質問」
『メガソーラー施設・公約の実現』

一般質問

まつだけんじ
松田健司 議員

メガソーラー施設開発事業 に対する町の姿勢は

町長 町民の不安軽減に
努めていく

私の視点・提案

令和8年2月14日に開催された町民説明会で判明した転売前提の開発や撤去費用3,700万円の事実は、私の独自試算した約7,000万円とは大きく乖離するが、責任主体の明確化や事前担保措置が必要では。将来の町民負担にさせない取組について伺う。



問 メガソーラーの撤去費用に対する町長の認識はどう考えているか。

答 町として独自の概算は算定しておらず、FIP制度に基づく積立金で対応する前提である。

問 積立額3700万円の妥当性はどうか。

答 算定根拠は制度に基づいたものだが、物価上昇等を考慮すると不測の可能性は否定できない。

問 独自試算の約7000万円との乖離への対応は。

答 事業者に撤去費用の詳細見積りを確認し、内容を踏まえ協議を進める。

問 追加担保措置の必要性はあるのか。

答 現協定に規定はないが、追加項目として盛り込めるのかを事業者と協議し

ていく。



問 事業の譲渡や転売の際の責任はどうなるか。

答 協定により、^{*}FIP制度に基づき、譲受人へ継承させることとなっている。

問 転売前提によるリスクについての認識はどうか。

答 転売は想定されるが、義務の継承を前提に对应していく。また、必要に

応じて内容を確認していく。

問 撤去費用の根拠提示を求めるべきではないか。

答 事業者に対し、概算や積算根拠の提示を求めていく考えである。

問 担保が不足するリスクへの具体的な対応は。

答 追加負担の要請も含め、町民負担とならないように求めている。

問 ^{*}FIPの限界等の制度上の課題への対応はどうしていくのか。

答 制度の最低限担保を踏まえ、条例制定や独自基準の検討を進めていく。

問 不適切な事業者への対応はどうしていくのか。

答 地域と共生しない事業者については排除の考えも含め検討していく。

問 協定締結後の新事実への対応はどうしていくのか。

答 新たな事実に基づき、協定内容の見直しも含め再協議していく。

問 着工前の厳格対応は可能なのか。

答 可能な範囲で協議や要請を行うが、法的に事業停止の権限はない。

問 最終的な町の姿勢は。

答 不備は是正を求めつつ、町として可能な範囲で協議し、町民の不安軽減に努めていく。

松田議員の
一般質問は
こちらから



※FIP (Feed-in Premium) 制度
太陽光発電の売電収入にプレミアム（補助額）を上乗せし、補助する制度。

一般質問

おおばかつひこ
大庭克彦 議員

政策・公約の実現に 向けた今後の取組は

町長 検討を加速させていく

私の視点・提案

田中町政も2年が経過したが、
政策・公約の中には具体的な
取組が見えてこないものもある。

任期の折り返しを迎え、現時点での評価と今後
の取り組みについて伺う。



移住・定住対策

問 現在行っている移住・
定住対策の取組内容と
実績は。

答 移住体験住宅は17年で
237人に利用された
が実移住は3人。ワーキン
グホリデーも移住実績はな
く、認知向上に寄与するが
定住には結びついていない。

問 現在、国が推奨してい
る二地域居住について、
本町でも有効な施策と考
えるが、町長の見解は。

答 関係人口拡大に對して
は有効だが、サービス
制限など課題もあると認識
しており、国の動向を踏ま
え検討しながら、先行事例
を参考に研究を進めていく。

少子化対策

問 本町の出生数は年々減
少し深刻な状況である。
出生数減少の要因をどう分
析しているのか。

答 婚姻数の減少が影響し
ていると分析しており、
背景には収入や住居など経
済的な不安があると考える。

問 婚姻数減少対策として、
結婚支援に向けた取組
と実績は。

答 結婚新生活支援補助金
は4年で11組の利用が
あり、交流イベントの実施
はしているが婚活特化はし
ていない。

人口・出生数の推移

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
人口 (年度末)	6,547	6,357	6,228	6,008	5,880	5,732
出生数 (年度)	36	22	22	17	24	10

問 結婚支援について、民
間事業者と連携した婚
活イベントの開催など、積
極的に取り組むべきと考え
るが、町長の見解は。

答 行政主導での実施は難
しいと考えるが、民間
企業との連携やマッチング
アプリの活用など、新たな
手法を検討していく。

高齢者の活躍

問 高齢者の社会活動等へ
の参加促進に向けた取
組内容は。

答 シルバーセンターやボ
ランティア活動を支援
し、生きがいづくりを推進
している。

問 就労機会の創出など、
高齢者が自身の活躍を
実感できる仕組みづくり
について町長の見解は。

答 「健康」「役割」「人と
のつながり」を重視し、
委員会への参加など多様な

機会の拡充をしていく。

道の駅・キャンプ場の整備

問 公約に掲げた道の駅や
キャンプ場の整備に関
して、具体的な議論が進ん
でいないが、取組の現状は。

答 検討段階にとどまって
おり、関係団体との具
体的な協議は進んでいない
のが現状である。

問 公約に疑念を持つ町民
もいる。関係団体との
協議や町民の意見聴取など、
速やかに議論を前に進めて
いく必要があると思われる
が、町長の見解は。

答 早期のうちに町民の意
見聴取の機会を設け、
令和8年度に向けて検討を
加速させ、場所や規模、運
営方法を整理していく。

大庭議員の
一般質問は
こちらから



次のページは「一般質問『町政執行方針』・モニター会議」

一般質問

おおや ゆきひろ
雄谷幸裕 議員

町政執行方針の重点は

町長

「高校の魅力向上」と
「買物の足の確保」を最優先

私の視点・提案

産業、福祉、教育等で直面している諸課題があり、時間的に急を要する課題もある中で遅れている原因は。職員確保の独自対策が必要ではないか。過去の答弁、説明に対する進捗状況の確認。



問 「集いの杜プロジェクトの推進」「広尾高校の魅力向上」「買物の足の確保」「行政事務におけるDXの推進」の4つのうち、令和8年度中に最優先で取り組む施策は何か。

答 「広尾高校の魅力向上」と「買物の足の確保」と、それに関連する地域公共交通の再構築」を重点的に取り組んでいく。

問 買物の足の確保が遅れている原因は何が考えられるか。

答 町内の商店の減少や交通事業者の人員不足により、既存の交通体制では対応が困難になっていることが要因と考えられる。

問 職員の適正人数未満の配置が事業着手に遅れが生じる原因ではないか。

答 職員は本町に限らず全体的に不足しており、採用難や離職により体制維持が困難な状況にある。

問 令和8年度中に方向性を示せるのか。

答 国の交通空白対策等も活用し、早急に検討を進める。



問 自治体システムの標準化は実施済みだが、一部窓口の簡素化にとどまっているのが現状である。

答 令和7年度の具体的な町独自のDX実績は何かがあるか。

問 各種申請書を統一する改善は進んでいるのか。

答 大きな独自の取組はないが、今後検討を進める段階にある。

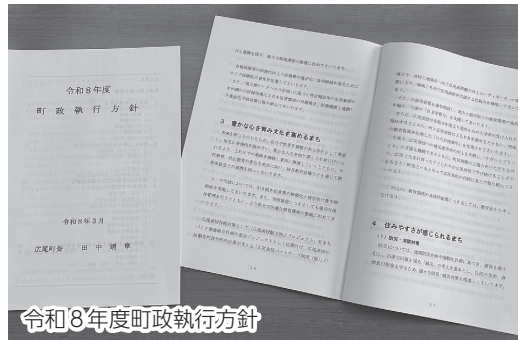
問 できることから取り組んでいきたい。

問 令和8年度中に方向性を示せるのか。

答 国の交通空白対策等も活用し、早急に検討を進める。

問 昨年3月に行政事務におけるDXの推進について、この一年での取組の進捗状況は。

答 職員の適正人数未満の配置が事業着手に遅れが生じる原因ではないか。



問 「書かないワンストップ窓口」の導入準備に取り組むことは出来ないか。

答 人員不足の課題はあるが、可能な部分から取り組んでいく。

問 DX推進の体制はどうしていくのか。

答 外部人材の活用も含め、体制強化を図る必要がある。

問 職員確保のため、看護師や保育士と同じように一般職も奨学金返還支援事業の対象にしてみてもどうか。

答 制度の改正に向けて積極的に検討していきたい。

雄谷議員の
一般質問は
こちらから



町民の声を

議会運営に反映

2/12

第2回議会モニター会議を開催

議会モニター6人、全議員（13人）が出席し、議会運営や議員活動などについて意見交換をしました。
※意見は抜粋、要約して掲載しています。



定例会・臨時会等

モニター

- ・一般質問をする議員は、あらかじめ決められているのか。
- ・「広尾産業流通振興公社」の所管事務調査はどのように行われたのか。
- ・町民の声を拾い、もっと具体的な質問をしていただきたい。
- ・町民とコミュニケーションを取って一つ一つの質問を深く行い、町側からの意見を引き出してもらいたい。

議会

- ・一般質問を希望する議員が「一般質問通告書」を議長に提出して行く。
- ・令和元年度から6年度までの6年間の経営状況等について担当から説明を受け、質疑を行った。
- ・人口減少など様々な課題がある中で、町民の皆さんの意見を真摯に受け止め、質問していきたい。
- ・他町村の取組なども参考に広尾町に合った政策提言が出来るようにしたい。

出席されたモニターの皆さん

大庭ひとみさん・鈴木 珠世さん
岩田 達興さん・千葉 博義さん
徳永 光起さん・早川 重光さん

議員定数・報酬等

モニター

- ・議員定数及び報酬等に関する調査特別委員会での現在の審議状況は。
- ・定数を減らした場合は、一人当たりの業務分担が増えるため報酬は上げる必要があると思う。
- ・何かを決める際に十勝管内の他町村と比べて決めるのは不可解である。

議会

- ・この一年は、町民や各産業団体からの意見を聴き、議員間で情報を共有して審議していた。今後もスケジュールに沿って、方向性や在り方等について町民の皆さんと意見交換をしたいと考えている。
- ・本町は重要港湾十勝港を有している特殊な地域であり、高規格道路の課題もあることから、広尾町なりの意見を反映させていきたい。

議会改革の取組

モニター

- ・高校生議会での一般質問の内容は次年度予算の参考となっているか。
- ・昨年行われた「議員カフェ」のような機会を続けて欲しい。
- ・議会だよりに掲載されている「自己評価」は、今の時代に不要では。

議会

- ・過去に高校生議会で取り上げた議案が政策に反映されたことがある。
- ・「議員カフェ」は、時間配分等の改善点について検討し、町民皆さんの意見を少しでも多く聞くため、継続していきたい。
- ・今年度の「自己評価」は、議会だよりの掲載ページを縮小している。今後も先進事例を参考に見直しをしていく。



次のページは「臨時会・議会基本条例」

第1回 臨時会

2/18

令和8年第1回臨時会が
2月18日に開かれ、専決処
分の承認、条例改正、補正
予算などの議案6件を審議。
いずれも原案のとおり承認。
可決し、閉会しました。

条例の改正

◆十勝港湾施設管理条例
の一部改正

十勝港第4ふ頭で整備中
のコンテナヤードに新設す
る冷凍電源装置の電気施設
使用料を定めました。

補正予算

生活応援地域ポイント
推進事業 300万円

商工協同組合が運営する
地域ポイント「サブリ」を
活用したポイント発行キャ
ンペーンと加盟事業所の拡
大事業を行います。

令和7年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑦⑧	86億154万円	1億4667万円	増
介護サービス事業特別会計 ④	3億3279万円	200万円	減

※会計名の後の丸数字は補正回数

(1万円未満切り捨て)

雄谷 期間内の発行が240
万円分に満たない場合、
期間の延長はあるのか。

答 状況を見ながら商工協
同組合と協議していく。

雄谷 不用額があった場合、
ポイントの方に切り替
える考えは。

答 事業所の加盟が予定数
を超えた場合は経費を
使用して拡大するが、ポイ
ントへの切り替えについて
は商工協同組合と検討して
いく。



議会のこと 教えて！さーたちゃん

Q

一般質問ってなに？

A

議員が町政全般について、町長や教育長等に事務の執行状況や方針について報告や説明を求めたり、疑問をただしたりすることだよ。



Q

一般質問をするには
どうするの？

A

質問したい議員が、質問したい内容を書いた「一般質問通告書」を議長に提出して、許可されれば定例会で質問ができるんだよ。



Q

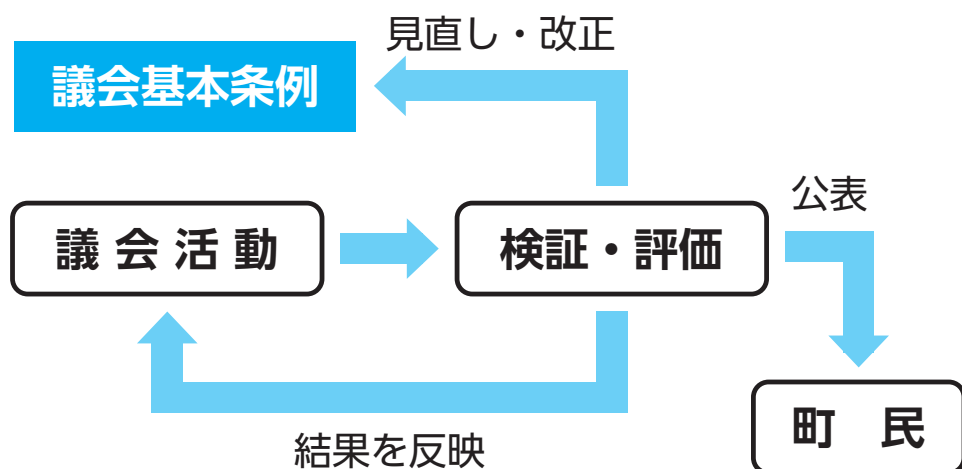
質問するときは
ルールがあるの？

A

広尾町議会では、1回目は一括質問方式、2回目以降は一問一答方式となっていて、2つ以上の質問項目があるときは、最初に全ての項目をまとめて質問して、町長や教育長などがそれに答えて、その後は、一つの項目ごとに質問と答えをかわるがわる行って、問答を続けるルールになっているよ。



議会基本条例の検証・評価を実施



「議会基本条例」に基づき行う議会活動の内容（活動できたか、できなかったか。どのように活動したか）について議会は検証・評価を行い、その結果を翌年以降の活動に反映させていく必要があることから、令和6・7年の活動について、検証・評価を実施しました。

◆議会基本条例 検証・評価の実施方法

＜一次評価＞

議員による評価

評価シートにより、全員で行う。評価は4段階で理由も記載。

＜二次評価＞

議会運営委員会による評価

議員の評価を基に評価を4段階で行う。評価の理由、今後の課題、改善策を記載。

＜最終評価＞

議会による評価

二次評価を基に、議員協議会での最終評価を決定。

評価結果の詳細は、
広尾町ウェブサイト
に掲載しています。



町ウェブサイト
「広尾町議会改革」
QRコード

◆評価実施後の取り組み

- ①議会として決定した「今後の課題及び改善策」について検討を行い、翌年以降の取り組みに反映させていく。必要があれば条例、規則等の改正を行う。
- ②検証・評価内容について、議会広報、議会報告会などで町民へ公表する。

※団体で傍聴を希望する方は、
議会事務局にご連絡ください。
(☎2・0180)

次回
定例会は
6月中旬
開会予定

傍聴席へどうぞ！
席は自由です

「傍聴人入口」で
住所・氏名を記入

役場の3階に
お越しく下さい

手続きは簡単
👍

町議会を
見に来ませんか

仕事の合間に！
友達と！
団体などで！

議会を傍聴
しませんか

次のページは「常任委員会」

考えた!



の現状

所管事務調査

総務常任委員会

調査日：令和8年2月6日

出席委員：委員長 はまの たかし おおや ゆきひろ
 濱野 隆、副委員長 雄谷 幸裕
 やまざし けんいち まつだ けんじ しむら くにあき やまや てるお
 山岸 謙一、松田 健司、志村 國昭、山谷 照夫

学校給食の現状と課題

学校給食の現状と課題について、説明を受けた後、広尾小学校の2年生と4年生の教室で給食を実食した。

学校給食センター

- ・延床面積…760・5㎡
- ・構造…鉄筋コンクリート造
- ・竣工年…平成5年度
- ・平屋建て

給食提供人数

給食提供人数は、小学校265人、中学校130人、高校46人の計441人分を提供している。

調理員の状況

	日々雇用	パート
雇用人数	5名	5名
勤務時間	8時～16時	8時30分～15時30分
給料	日給8,700円	(有資格者) 時給1,160円 (無資格者) 時給1,075円

原材料の購入

野菜や肉などの生ものは

町内業者から仕入れており、パンは南十勝の町村で、牛乳は十勝管内で統一して共同購入しているため安価で仕入れている。米については北海道学校給食会が全道の市町村の1年分の購入予定量をホクレンに発注しているため、安価で仕入れることができる。

ふるさと給食

平成25年度から始まっているふるさと給食は、地元で獲れた魚介類の無償提供を受け、食材として調理するものである。今では7魚種の提供を受けており、令和6年度からは牛乳も無償提供されている。

また、そのお礼として、食材を提供してくれた方へ小学生が手紙を書いて送っており、地域を知り、地域に愛情を持ち、感謝の心を育むなど生きた教材として高い教育効果が期待できるため、関係者の協力のもと続けていく。

生ごみのリサイクル

本町の取組として、給食センターから排出される生ごみを堆肥化して牧草地に利用し、その牧草を乳牛に与えて生産された牛乳を給食用牛乳として無償での提供を受けている。令和7年度は鈴木牧場より「十勝オーガニック牛乳」の無償提供が3回行われた。

アレルギーへの対応

パン等の個包装食材のアレルギーには対応できているが、全てのアレルギーには対応できていない。

アレルギー対応のために弁当を持参した場合は、回



ふるさと給食「ツブカレー」

数にに応じて助成金を交付している。

主な質疑

問 今後の給食費の改定の考え方は。

答 急激な改定とならないようバランスを見て、随時見直しを行っていく。

問 イワシもふるさと給食に結び付けていくことが必要ではないか。

答 調理方法を工夫して、地元のイワシを使用できるか検討していきたい。

問 食品ロスになったパン等を販売している自治体もあるが、本町は。

答 衛生面等の整理が必要。今後も食品ロスの取組を調査していきたい。

問 異物混入の実態は。

答 年に2、3件で、原材料に含まれていたものであり、仕入れ業者に連絡し、再発防止に努めている。

産業常任委員会

調査日：令和8年2月10日

出席委員：委員長 前崎 まえざき 茂、副委員長 萬亀山 ちず子
さとう 斎藤 ひろき 弘樹、おや 尾矢 としあき 利昭、おおば 大庭 かつひこ 克彦、わたなべ 渡辺 ふうま 富久馬
議長 堀田 ほりた じげお 成郎

見た！
聞いた！



ひろお 常任委員会

「集いの杜プロジェクト」の運営状況

担当課の説明を受けた後、「集いの杜」の現地視察をした。

集いの杜プロジェクト

令和4年度から地域おこし協力隊が中心となり、野塚交流館（旧野塚小学校）を再生させ、「笑顔・魅力・やりがい」が集まる場所に变貌させる地方創生のプロジェクトとして進められている。「林業振興」をコンセプトとし、薪ストーブやペレットストーブを導入したり、木工機械をそろえた木工室を整備したりし、イベント開催などでも多くの町民が集う場所となった。

また、本町で伐採された

木を「広尾サンタランドウッド」としてブランド化し、ウッドイルミネーションを展開

するなど、木材の価値向上

に取り組んでいる。

○野塚交流館の概要

・建築年…昭和53年

（平成27年3月閉校）

・建築面積…1349・91㎡

集いの杜の活用

○令和4～5年度整備箇所
・1階（6室）…木工室、木材置場、大型家具製造工房、用途保留、事務所、カフェスペース
・2階（7室）…木材乾燥室、コワーキングスペース、キッズスペース、展示室、コミュニティスペース、用途保留×2

各年度の体制と取組実績

○令和3年度（協力隊1名）
・ウッドイルミネーションの企画立案、試作

・サンタランドに千個のウッドイルミネーションを設置

○令和4年度（協力隊2名）
・野塚交流館再生事業にて、各部屋の自主施行を実施
・10月と2月に体験イベントの実施

・サンタランドのウッドイルミネーションを5千個まで増加

○令和5年度（協力隊1名、会計年度任用職員1名）

・プレオープンの実施
・木製玩具等の製作、販売

・サンタランドのウッドイルミネーションを1万個まで増加

○令和6年度（協力隊2名、会計年度任用職員1名）
・「集いの杜」を会場としてイベントを開催（13回）
・1万個のウッドイルミネーションの継続設置

○令和7年度（協力隊3名、会計年度任用職員1名）
・「集いの杜」を会場としたイベントを開催（R8・1月現在で8回）
・1万個のウッドイルミネーションの継続設置。



主な質疑

問 「集いの杜」に現在、用途保留の部屋が3室あるが、どのように対応していくのか。

答 地域おこし協力隊と協議をしながら、林業振興の観点で適切に判断・検討をしていきたい。

問 令和8年度の計画では、協力隊5名、プロジェクトマネージャー1名の6名体制と説明があったが現状は。また、人員が確保できなかった場合の対応は。

答 現在は3名の協力隊が在籍しており、応募者は0名。公募期限までに応募がなければ、期限の延長を考えている。体制的に厳しければ、ウッドイルミネーションをメインに対応。

問 令和7年度の売上目標の100万円に対し、現状は約19万円であるが、何か得策があるのか。

答 今後検討していく。

次のページは「議会日誌」

議会活動日誌

令和8年3月～令和8年5月

【3月】

- 1日 広尾高等学校卒業式
- 4日 第1回広尾町議会定例会（～12日）
第2回議員協議会
- 5日 第2回議会広報特別委員会
- 7日 広尾町文化賞・スポーツ賞等表彰式
- 26日 第1回議員定数及び報酬等に関する調査特別委員会

【4月】

- 8日 広尾高等学校入学式
- 21日 第3回議員協議会
十勝町村議会議長会役員会（帯広市）
十勝町村議会議長会定期総会（帯広市）
十勝圏活性化推進期成会 委員会（帯広市）
- 27日 議会広報編集会議
第2回議員定数及び報酬等に関する調査特別委員会
広尾町議会議員会総会

【5月】

- 10日 広尾町消防団春季消防演習

- 11日 第4回議員協議会
第3回議会広報特別委員会
広尾町北方圏交流振興会総会
- 13日 厳島神社春季祭典
- 18日 広尾高等学校存続対策協議会
- 20日 広尾町商工会通常総会
- 22日 第2回広尾町議会臨時会
第5回議員協議会
第3回議員定数及び報酬等に関する調査特別委員会
- 23日 海難碑、延命地蔵尊供養祭
- 25日 とかち広域消防事務組合議会臨時会（帯広市）
十勝圏複合事務組合議会臨時会（帯広市）
十勝圏活性化推進期成会定期総会（帯広市）
- 29日 広尾町自衛隊協力会定期総会

閉会中の所管事務調査

議会運営委員会は、令和8年第2回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の基本条例、会議規則等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

議会広報特別委員会 新体制でスタート

3月5日に開かれた第1回定例会において、「議会だより」の編集を行う議会広報特別委員会の新たな委員が決まりました。委員の任期は2年です。

「議会だより」は3・6・9・12月の年4回発行し、議会の審議内容や議会・議員活動について、2回の編集会議、議会広報特別委員会での最終チェックを経て、町民の皆さんにお知らせしています。

今後も、皆さんが読みたいと思える見やすい紙面づくりに努めていきます。

委員長：まつだ けんじ 松田 健司
副委員長：おや としあき 尾矢 利昭
委員：さいとう ひろき やまぎし けんいち まえざき しげる やまや てるお
委 員：斎藤弘樹、山岸謙一、前崎 茂、山谷照夫

